

気候情報

2011年9月の日本の天候

- 台風と前線の影響により降水量が多かった
- 中旬にかけて高温
- 東日本では月間日照時間がかなり多かった

9月の天気概況

月のはじめは、台風第12号や前線の影響により、紀伊半島を中心に記録的な大雨となり、甚大な災害が発生した。

その後は月の中頃にかけて、東日本以西は高気圧に覆われ晴れて気温が高かった。東日本では、中旬の平均気温が、9月中旬としては1961年以降最も高い値を更新した（平年との差： $+3.1^{\circ}\text{C}$ ）。

月の中頃から下旬はじめにかけては、前線と台風第15号の影響により、大東島地方で記録的な大雨となったほか、西日本から北日本の広い範囲で記録的な大雨や暴風となった。

月の終わりは、寒気の影響により全国的に気温が低い時期があった。

北日本日本海側の月降水量は、9月としては1946年以降最も多い値となった（平年比：203%）。

上旬：期間はじめに、台風第12号が南海上から北上し、3日に高知県に上陸後、ゆっくりと北上して4日に日本海に進んだ。また、2日から5日にかけて、前線が日本海から北海道付近に停滞した。このため、前半は北日本から西日本にかけて雨の日が続き、紀伊半島を中心に降り始めからの総降水量が1000 mmを超えるなど記録的な大雨となった。後半は、北日本は気圧の谷の影響により曇りや雨の日が多く、東・西日本は高気圧に覆われ晴れた日が多かった。沖縄・奄美では、期末に日本の南海上から東シナ海に北西進した台風第14号の影響により、雨となったところもあったが、高気圧に覆われ晴れた日が多かった。期間を通して暖かく湿った空気の影響を受けることが多かった北日本では、かなり気温が高かった。

中旬：北日本は、期間を通して前線や気圧の谷の影響により曇りや雨の日が多かった。東日本以西では前半は晴れた日が多く、東・西日本では勢力の強い太平洋高気圧に覆われて気温がかなり高かった。後半は、13日に日本の南海上で発生した台風第15号が、16日から19日にかけて南大東島の西海上に停滞し、日本海から前線が南下したため、沖縄・奄美と西日本で曇りや雨の日が多くなり、18日は大東島地方で記録的な大雨となった。その後台風は、北東に進み、20日夜遅くに非常に強い勢力となり、速度を速めつつ四国の南海上を進んだ。このため、期末は東・西日本の各地で記録的な大雨となった。

下旬：21日に台風第15号は紀伊半島に接近して静岡

県に上陸した後、強い勢力を保ったまま関東甲信地方、東北地方を通り福島県沖に抜け、22日に千島近海で温帯低気圧となった。台風第15号の影響により、九州や四国の一部で降り始めからの総降水量が1000 mmを超えるなど、西日本から北日本にかけての広い範囲で記録的な大雨や暴風となった。その後は、移動性高気圧に覆われ晴れた日が多かったが、沖縄・奄美では、前線や湿った空気の影響により曇りや雨の日が多く、奄美地方では、25日夜から26日にかけて大雨となった。

9月の気候統計

月平均気温：全国的に高く、北・東日本では平年を 1°C 以上上回った。

月降水量：北日本、東日本日本海側、西日本太平洋側でかなり多く、これらの地域では平年の300%を上回ったところもあった。東日本太平洋側、西日本日本海側では多く、沖縄・奄美では少なかった。

月間日照時間：東日本でかなり多く、西日本日本海側で多かった。西日本太平洋側、沖縄・奄美では平年並で、北日本では少なかった。

（気象庁観測部統計室）

9月の記録（1位更新のみ）

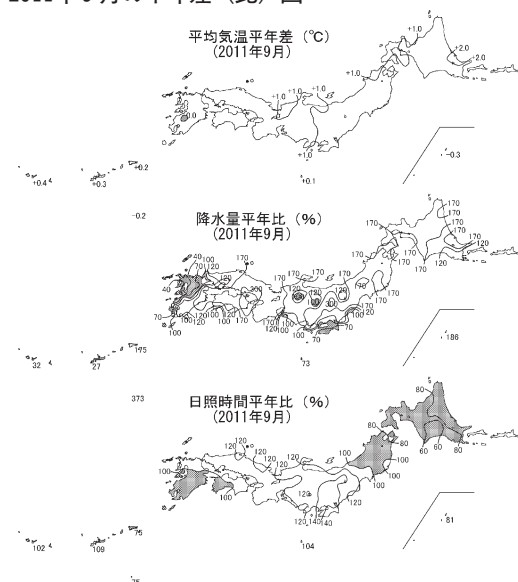
・月降水量多い方から（mm）

留萌 385.5 日光 1258.5 徳島 1008.0
南大東島 506.0 など7地点

・月間日照時間少ない方から（時間）

苫小牧 96.0 広尾 77.6

2011年9月の平年差（比）図



注) 陰影の部分は、平年より低い（少ない）地域を示す。